

## 令和5年度 学校評価

### 1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。  
生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

### 2 中期目標

#### 1 学校運営

- (1) 神社神道の精神である「浄明正直」を実現する
  - ア、学校行事を通して神社神道の精神を学び、成長の糧とする
  - イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う
  - ウ、挨拶を積極的に行う
- (2) 教員研修の充実
  - ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる
  - イ、外部の研究会や研修会などに各教科が積極的に参加
  - ウ、外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施
  - エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる
  - オ、新任教諭による研究発表会
- (3) 学校施設の充実
  - ア、学習施設の整備充実を図る
  - イ、校内学習補助機材等の充実
- (4) 危機管理体制の確立
  - ア、災害時、管理マニュアルの更新
  - イ、水、食料の備蓄を実施する
  - ウ、防犯訓練・避難訓練の実施

#### 2 基本的生活習慣の確立

- (1) 人権教育
  - ア、生活実態調査
  - イ、人権教育HRの実施
  - ウ、生徒対象人権教育研修会(1年生のみ)の実施
- (2) 生活指導
  - ア、学校外危険箇所、正門での登下校時の指導
  - イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施
  - ウ、全校生徒対象の校長講話ならびに生徒生活指導部長からの注意、指導
  - エ、服装、頭髪指導、及び公共のマナー、交通マナー向上の指導
- (3) 講演会、講習会の実施
  - ア、薬物乱用防止教室
  - イ、防犯教室
  - ウ、人権研修会
  - エ、ネットトラブル防止教室
  - オ、思春期教室
  - カ、自転車通学者講習会
  - キ、AED講習会

### 3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
  - ア、教科内での教員研修会の実施
  - イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上
- (2) 英語教育の強化
  - ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す
  - イ、Naniwa Global Academy (ISA) の実施
  - ウ、語学研修の実施
  - エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
  - オ、浪速国際コースでの実践力強化
- (3) 講習等の実施
  - ア、始業前の学習指導
  - イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施
  - ウ、長期休暇中での講習
  - エ、多聞合宿の見直しと内容の充実
  - オ、夏期特別選抜合宿の実施
- (4) ICT教育の推進
  - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
  - イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施
- (5) 将来の進路選択に関する意識付け
  - ア、大学入試改革・学習指導要領改訂への対応
  - イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施
  - ウ、各大学で開催されるオープンキャンパス、セミナーへの積極的な参加
  - エ、外部講師を招いての受験対策講義
  - オ、HR等の時間での進路説明会
  - カ、思考力・判断力・表現力の育成

### 4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
  - ア、授業参観の実施
  - イ、各学期に行われる三者懇談会
  - ウ、学期末に行われる成績懇談会
- (2) 保護者との連携と情報発信
  - ア、担任と保護者との連携
  - イ、保護者へ学校連絡網システムやホームページによる情報発信
  - ウ、保護者対象進路説明会の実施
  - エ、高校生活支援カード作成による連携
- (3) 地域との連携
  - ア、大和川中学校区のイベントへの参加
  - イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加
  - ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)
- (4) 奉仕委員会
  - ア、地域での奉仕活動・神社奉仕
  - イ、近隣の老人ホーム慰問

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 自己分析と授業評価アンケートの結果、学校生活を楽しく過ごしていると答えた生徒の割合は、全学年の平均で昨年の82%より3%増の85%となっており、逆に充実感を得ていない生徒や不満を抱えている生徒達は、昨年から1%減の4%であった。 家庭学習の時間については、高3が激増しており(3時間以上が5%から21%)、進路に対する意識を向上させる取り組みが成果をあげていることがわかる。ただ、高2・高1生徒の意識変化が見られず、今後の課題として浮き彫りになった。 同じく、将来について真剣に考えていると答えている生徒の割合も、学校全体で77%と昨年度の70%から増加し、特に高3が91%と大きく増加した。進路指導部を中心に細やかな情報提供と担任等との相談機会確保が進んでいることがわかった。 工夫された授業に関する評価は、良い評価が全学年の平均で昨年の51%から60%に増加している。その良いとは、授業におけるICTの活用が大きな影響を与え生徒の判断基準となっており、板書データの共有・調べ学習・プレゼンテーション・課題の配信など、生徒自身がICTのツールを上手に活用していることが伺える。そして、実力アップにつながる授業が多いとの評価が昨年度の48%から56%に増加していることから、理解度を向上させ、生徒が満足する授業の展開が進んでいることが伺える。ただ、56%という数値が多数とは言えない。引き続き、主体的に学びに向かう力の育成、思考力・判断力・表現力の育成が大切である。</p>	<p>文武両立で高みを目指す生徒さんが多く、トップレベルの多数のクラブが相乗効果で互いに刺激し、たくましい人間力を養われているようにお見受けします。府内でもトップレベルの最新鋭ICT機器を柔軟に使いこなし、将来設計にむけ着実にご努力なさるようお見受けします。多くの生徒さんが登下校時に学院神社に礼をして感謝の念を持って伸び伸びと過ごされているお姿は、大阪でトップ校のお姿を投影しているように思います。私の甥も浪速高校さんにお世話になっておりますが、クラブと勉学に充実し最高の浪速高校の環境を満喫しております。ここまで学校に愛着を持ち努力ができるようになったのは、日々の先生方の愛情とご努力のお陰だと思ひ感謝申し上げます。神社神道の精神を享受し感謝の気持ちを持ち、自身の個性を出されている生徒さんに、常に私は刺激とパワーを頂いております。 今の自分に何が必要なのか、これからの時代に何が必要なのかを真剣に考えてもらいたと思います。勉学やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をしていてもらいたと思います。 また、最近、登校時、下校時に挨拶をしてくれる生徒が増えたように思えます。今後もっとそういう生徒が増えていけば素晴らしいと思います。生徒達の学校生活の評価で、不満を抱えている生徒4%や未回答の生徒がはっきりと回答できる状況を望みます。特に将来の展望を持って日々学習していることは大変素晴らしいと感じます。ICTのツールを駆使した授業で工夫された授業であると60%の生徒が評価しているのに、理解度との差があるのが、今後の対応に期待いたします。</p>
<p>○保護者 新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降は、学校行事の形態をコロナ以前に戻している。全学年で授業参観を実施し、その中で保護者アンケートによると、「とても良かった」・「良かった」をあわせると89%となり好評であった。個別の意見では、「授業のテーマが明確でとてもわかりやすかった。プロジェクターやPCなど効果的に使用されていた」「先生たちも笑顔で、生徒たちも緊張感があり良い雰囲気でした」「高校の参観は新鮮でした」などがあつた。だが、「できれば2人で参加したかった」という意見もあり、生徒1人につき保護者1人という条件に関して、今後検討が必要な状況もあると言える。</p>	<p>大阪府でも類を見ない学校環境の良さと、深い愛情を持って指導される先生方に満足をおこなっていて、安心してお子様をお預けなられています。充実した学校行事に常に進化する教育環境にとっても期待されています。保護者さんがお知り合いに、浪速高校の環境の良さや安心感をいろいろな人々にお話なさっていることを沢山お聞きしました。次の世代の方にもお伝えなさっておられます。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響も踏まえ、今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただけるようにしたいです。生徒の総数が多いから難しいかもしれませんが、今後人数制限なしの卒業式や入学式なども、実際に同じ会場に参列できたらより一層嬉しいのではないかと思います。昔と異なり保護者の対応が大変な今、保護者からの評価が高いと言うのは良いと思います。</p>
<p>○教職員 学校運営については、教職員・生徒・保護者に浸透している建学の精神を中心に、教育課程の充実、主に本校ホームページを活用した教育活動の情報発信、授業公開など、全教職員のアンケート結果から90%以上の教職員が達成したと評価をしている。一方、危機管理の役割分担や地域との交流についての項目が80%であり、改善の希望を求める意見があつた。 教育内容については、ICTを活用して授業の質を高めわかりやすい授業を実践する取り組み、放課後講習などのきめ細やかな指導、進路相談などによる進路指導の充実、人権教育、情報モラル教育の内容充実などが95%を超える高い数値となっており教職員から評価されている。生活指導を中心とする日々の生活態度の改善やカウンセリング体制についての項目では80%で高い数値であるが、不足していると答えている教員も少数おり、さらなる改善が必要と思われる。部活動の活発さは99%の評価であり、文武両立をモットーとする本校の考えは、教職員の評価の上に成り立っていると分析できる。</p>	<p>住吉区内の学校とお仕事させていただいていますが、ここまでご努力と生徒さんの為に尽くす先生方の集団はありません。 職員室は常に活気に溢れて、常に生徒さんの為の進歩・進化を手助けなさるお姿に、清く美しく感動致します。沢山の先生方は、それぞれの個とチーム力の団結力で、あらゆる難局を乗り越え大阪府でも規範となる学校を作られてこられました。大阪府でもトップのご努力と、神社神道の精神を優しく生徒さんに伝授なさられたからこそ府民から信頼されたと思います。努力と、創意工夫、生徒さんへの愛情、常に次に向かう姿勢は沢山の皆様に影響を与える先生方であり、若し教職員も増えているかと思ひます。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思ひます。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思ひます。 今回の新型コロナウイルスの件で、いつ何がどうなるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が進めやすくなるかと思ひます。いかなる事にも素早く対応できる様に、危機管理を最大限に持って、素早く対応できるように準備していただきたいと思ひます。浪速ならではの教育を進めていっていただきたいと思ひます。ICTなどのデジタル的なものだけに頼るのではなく、教員と生徒の人間としてのいい関係をもっと増やし、生活力や学力をもっと向上させる様に教育していただきたいと思います。また、地域との連携とありますが、区民まつりや区民フェスティバルにぜひ参加して、地域との連携を深めてほしいと思ひます。 100年もの間、神社神道の精神を沢山の生徒さんに伝えて、個々の個性を伸び伸びと育ててこられた歴史が、大阪府でも類を見ない沢山の皆々からご指示される学校を作られてきたと思ひます。大阪府トップの人数の生徒さんを、どこにも負けない努力と愛情をお持ちのチーム浪速の先生方が、どこにも負けない誉と高見へと導いていらっしゃいます。ICT環境や学校施設は日々進化し、最高の環境を提供できる学校は府内でもずば抜けております。沢山の多様なクラブ、勉学に未来を目指し努力なさる生徒さん、ここには素晴らしい切磋琢磨できる環境があります。最高の先生方、最高のクラブ指導者、どこにも負けない学校の努力は、キラキラと眩しく輝いて私には見えております。勉強熱心で向上心のある先生方のきめ細やかな対応、臨機応変な判断で、生徒や保護者は安心してきています。生徒先生方のお互いの信頼性があるから保護者も信頼させて預ける、そういう素晴らしい学校だと思ひます。</p>
<p>○分析 本校の教育環境整備は更に進んでおり、内部だけでなく外部からも評価をいただいている。それは入学者数にもあらわれている。ただその人数増は、単に施設設備が豪華で完備しているだけではない理由ではなく、「浪速で学びたい」ことが支持されている。教職員はその期待にこたえるべく常に努力し、教育の中身についてしっかりと対応できているからである。大阪府が進めた高校授業料完全無償化は、順次適用されていきますが、この姿勢を崩しては絶対いけないと感じている。 「主体的に取り組む力」の必要性が謳われている新学習指導要領に対応するため、生徒自身が積極的かつ能動的に「自学自習」や「探究活動」等に取り組む時間を確保することに力を注いでいる。また、大学入試に対するカリキュラムの改訂を実行し、確実に対応できている。 「生徒の面倒を徹底的に見る」を教職員の合言葉としており、生徒達の僅かな変化をいち早くキャッチすること、問題の解決へ敏速に動くこと、学校生活を安心して送るため保護者との連絡を密にとること、教員間での相談や情報共有を確実にすることを進めており、高く評価されている。そして、今後も継続していく。</p>	

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」実現	ア、学校行事を通じて神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、校外学習における神社参拝や伊勢修養学舎を実施	行事実施前の神道授業での事前学習の充実と実施後の変化や成果を検証し改善を行う	行事(一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・伊勢修養学舎)と授業(神道)を連携させて実施した。春の校外学習で、高3が神戸、高2が京都、高1が奈良の神社をそれぞれ参拝した。	
		イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う	神社奉仕や校外の清掃活動(学期に1回～2回)を実施	神社奉仕はを7月後半に実施した。校外清掃活動は実施できなかった。	
		ウ、積極的に挨拶をすることにより主体的に生活環境の配慮と構築を進める	教員生徒間はもちろんのこと来校者全員に対しても積極的に挨拶をする	概ね良好と思われ、外部の方々からお褒めの言葉をいただけることが多い。	
	(2) 教員研修の充実	ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる	教科ごと学期に一回の研修会、反省会の実施	各教科、学期に1回程度の公開授業を実施した。	
		イ、外部の研究会や研修会などに、各教科で積極的に参加	各教科で年間で2、3回は参加し、教科内で情報を共有し、教科指導に役立てる	年間を通じ、各教育機関(英語先進校、自習室実施校)・公開授業(探究)・予備校の研究会(共通テスト対策)などに教科から参加し、教科会議などで情報を共有した。	
		ウ、年2回程度外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施	社会的問題(人権等含む)となっているテーマについて講師を招聘しての研修を実施して、教員への意識の向上と迅速な対応が出来る事を目的とする	6月22日・11月30日・1月25日に実施をした。	
		エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる	発表会、展示会へ参加研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。5月18日には教職員ICT研修会を実施した。	
		オ、新任教諭による研究発表会年間の研究研修の成果を発表する	新任教諭が存在する年に開催される	4月27日・5月25日に実施した。	
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実を図る	全校生徒、一人1台Chromebookを遅滞なく使用できる環境整備の構築	ネットワークの通信速度の増強と、自学自習用教材のソフトウェアの拡充を行った。	
		イ、校内学習補助機材等の充実を図る			
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを更新する	マニュアルの見直しと更新	総務部を中心に関係各部署と連携を取り対応し、準備し備えをした。	
		イ、水、食料の備蓄を実施する	新入生分を新規に備蓄する		
		ウ、防犯訓練、避難訓練の実施	大阪880万訓練の日に実施		
	基本的生活習慣の確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査の実施	各学年1学期に実施	「人権アンケート」として、5月26日に実施した。
			イ、人権教育HRの実施	各学年、年に2回程度実施	1年は4月と10月と2月、2年は12月と1月、3年は10月に実施した
			ウ、生徒対象人権教育研修会(1年生のみ)の実施	年1回研修会実施	1年:「同和教育」をテーマに10月26日に実施した。 2年:「LGBTQ」をテーマに5月18日に実施 3年:「LGBTQ」をテーマに6月1日に実施
(2) 生活指導		ア、学校外危険場所、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており、現在のところ問題発生件数は減少傾向にある、	
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1回実施	予定通りに実施した。効果的な方法であると確信しており、今後も継続し、日々の指導を充実させていく。近年はネット上のトラブルが中心となっている。	
		ウ、全校生徒対象の校長講話と生徒生活指導部長からの注意、指導	月2回の全体指導	朝礼において、毎月予定通りに実施した。	
		エ、服装、頭髪指導及び公共のマナー、交通マナー向上の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施した。登下校時の自転車事故の発生が増加している。	
(3) 講演会、講習会の実施		ア、薬物乱用防止教室	中高で実施	11月16日に実施した。	
		イ、防犯教室	中高1年生対象で実施	12月7日に実施した。	
		ウ、人権研修会	各学年で実施	上記(1)ア・イに記載。	
		エ、ネットトラブル防止教室	中高合同で実施	4月6日に実施した。	
		オ、思春期教室	高校3年生で実施	6月1日に実施した。	
		カ、自転車通学者講習会	高校1年生対象で実施	1年生は4月6日に、2・3年生は4月13日に実施した。	
		キ、AED講習会	新任教員、クラブ代表生徒対象で実施	7月12日に実施した。	

学 力 向 上 と 進 路	(1) 教科指導力の強化	ア、教科内での教員研修会の実施	教科別教員研修会の実施 朝・放課後・長期休暇期間における講習実施後の小テストや模擬テスト、定期テストの結果を見て改善箇所の発見と改善に努める	各教科内で互いに授業見学を行い、授業力の向上に努めている。また、ICT機器を活用した教授法などの研究を行っている。Google認定教育者(レベル1)資格の取得を推奨し、スキル向上に努めている。
		イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上		
	(2) 英語教育の強化	ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す	英語検定を年に2回実施	英検を6月20日および1月12日に実施した。英検学習用ツールTiiFaで効果的な学習をすすめた。
		イ、Naniwa Global Academy (ISA) の実施	海外の大学生が来日し本校生徒に対し5日間英語のみでコミュニケーションを図る指導などを行う	8月1日～5日の期間で実施し、参加者は40名であった。
		ウ、語学研修の実施	約2週間、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し英語学習の必要性を高める	国際コースの14人が11月5日～11月18日でフィリピンに語学研修を実施した。また、3月16日～31日の日程で、カナダ・バンクーバー方面に33人が語学研修を実施した。
		エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	新任教員など、基準のクリアを目指して資格試験を受験予定の教員が複数いる。
		オ、浪速国際コースでの実践力強化	浪速国際コース(Iコース)において、様々な取り組みを実践する	<b>【2年生】</b> 長期留学3名(カナダ、アメリカ)・ターム留学3名(カナダ)・短期留学3名(オーストラリア、フィリピン)。特記すべきは提携校であるパーペチュアル大学への短期留学の発足である。 また、「英語を使った仕事」をテーマに職場見学会を行った。 <b>【3年生】</b> 韓国とのオンライン交流会から絵本を作成し、ガーナの孤児院へ寄付した。洋書によるオールイングリッシュ授業はさらに発展し、英検準1級に複数合格、そしてIELTSハイスコアを取得。留学帰国生は総合選抜を利用して国公立大学の合格者が出た。3名が大阪グローバル塾生としてイギリス研修を修了し、うち1名は大阪府代表に選ばれ、奨学金を受給してマレーシアに進学。
		ア、始業前の学習指導	月～金まで朝学習を行う 学年ごとに内容などの計画を立てて実施	各教科の朝テスト・英語検定や漢字検定の集中対策・ 新聞記事を利用した思考力養成の取り組みなどを実施した。
	(3) 講習等の実施	イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施	模擬テストや定期考査における成績の向上を指標の1つとして実施	放課後講習は月火水金で実施した。 夏期講習・冬期講習を実施した。
		ウ、長期休暇中での講習の実施		
		エ、多聞合宿の見直しと内容の充実	大学入試に対応する内容で5教科を中心に実施。同時に主体的学習時間も増やす	各学年で学習合宿を実施した。大学入試を意識して、各教科による内容や思考力・表現力を育成する内容で実施した。同時に、定期試験前の日曜日には学校での特訓講座を実施した。
		オ、夏期特別選抜合宿の実施	国公立大学志望者から成績優秀者を選抜して実施。3年生だけでなく、2年生でも実施	3年生は7月27日～8月4日で京都で実施 2年生は7月後半に5日間で計画していたが、直前に体調不良者が増えたため、急遽学校で実施した、
	(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加。	学校訪問、研究会、展示会参加。 本校独自の研究授業の実施	4/12 サテライトオフィス・デジタルEXPO for エデュケーション 5/12 EDIX東京 生徒による講演引率 5/31 DSK INNOVATIONフォーラム2023参加 6/5 自習室視察 6/20 New Education Expo(NEE)教育関係者向けのセミナー&展示会のイベント 8/7 Google for Education コミュニティイベント 2023参加 9/23 Google for Education 事例校サミット2023参加
		イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施(電子黒板、プロジェクター、タブレット等)		5/18 デジタルシティズンシップ研修 12/12.13 1/25 研修会を実施

(5) 将来の進路選択に関する意識付け	ア、大学入試改革・指導要領改訂への対応	制度変更や手続き関係などの連絡や説明会を定期的実施	学期毎に進路HR(学年別)を実施し、入試方法の変更や入試制度の変更を学年で共有した。	
	イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施	進路説明会、キャンパスツアー、分野別説明会等を実施	3年生に進路説明会、進学希望対象講演会 1年生に分野別説明会を実施した。	
	ウ、各大学のオープンキャンパス、セミナー等への積極的参加	大学見学会、セミナー案内を定期的に実施	オープンキャンパスやセミナーの案内を各生徒の端末に適切な時期に配信して案内した。	
	エ、外部講師を招いての受験対策講義	難関国公立大学を目標に外部講師を招き講義	3年生の1学期に実施した。	
	オ、HR等の時間での進路説明会	各学年各学期に2回程度実施	計画通りに実施した。	
	カ、思考力・判断力・表現力の育成	放課後講習や特別授業で実施	放課後の探究講座・多聞尚学館での「思考力養成セミナー」・「表現力向上セミナー」で集中的に実施した。	
保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	4月下旬に授業参観を実施予定	予定通りに実施した。
		イ、各学期に行われる三者懇談会	6月と11月に実施予定	6月5日～10日、9月25日～30日(3年のみ)、10月30日～11月4日(1年のみ)、11月6日～10日(2年のみ)、1月22日～30日(3年のみ)に実施した。
		ウ、学期末に行われる成績懇談会	7月、12月に実施予定	7月18日～28日、12月16日～23日に実施。この他、必要に応じ、年間を通じて適宜実施。
	(2) 保護者との連携と情報発信	ア、担任と保護者との連携	欠席や遅刻をした場合の保護者への連絡	全ての担任が必ず当日中に確認の連絡を行い情報共有をしている。
		イ、ホームページ、学校連絡網システムであるclassiでの情報発信	全ての生徒・保護者と双方向の連絡が取れる仕組みを確立する	ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで学校での出来事を常に発信した。保護者への情報発信は、HPに加え、classiおよびclassroomを活用している。
		ウ、保護者対象進路説明会の実施	保護者対象に外部講師や本校教員にて実施	1学期に1年生保護者、2学期に全学年対象保護者にむけて実施した。また、3学期に1年生、2年生の保護者対象に本校教員による進路学習会を実施した。
		エ、高校生活支援カード作成による連携	入学時に提出し、必要に応じて適切な支援を行う	支援が必要な生徒には特別支援委員会で計画を作成し、情報の共有と共に支援を行った。
	(3) 地域との連携	ア、大和川中学校区でのイベントへの参加	積極的に参加する	今年度は開催されなかった。
		イ、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加		住吉区民センターにて、7月17日と7月24日にレインボーコンサートを実施した。また、9月15日にオータムコンサートを開催した。
		ウ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ塚)		3月28日に実施した。
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動・神社奉仕	各学期に1回～2回実施	地域清掃活動は実施しなかった。神社奉仕は7月21日～7月28日の期間に5箇所で行った。
		イ、近隣老人ホーム慰問	年1回実施	今年度は実施しなかった。

#### 4 次年度への取り組みについて

##### 学校週5日制に向けた土曜日の活用方法について

令和6年の2学期から開始を予定している学校週5日制について、土曜日の活用方法を中学校と共同で検討を進めている。自学自習を保障する場の提供。外部委託による講座の実施。本校教員による講座の実施。クラブ活動の実施。講座内容も、教科だけでなく、探究やキャリア教育や進路ガイダンス等も取り入れ、多種多様な内容を準備してニーズに対応できるように検討を進めている。

##### 地域との交流の活性化について

学校行事については、ほぼコロナ以前に戻すことができている。ただ、近隣住民との交流等については、しばらく途絶えていたこともあり、元通りとはならなかった。学校の運営に関連し、近隣の方のご理解、ご協力は非常に重要であるため、実施方法等を見直し、交流を活性化させる方策を検討する。

##### カウンセリングの拡充

教職員アンケート結果を受けて、カウンセリング体制の強化の検討を実施することとした。

##### 危機管理マニュアルの改訂とより実践的な自然災害に対する備え等について

教職員アンケート結果を受けて、危機管理マニュアルの改訂を早急に実施することとした。同時に、避難訓練の方法にも改良を加える。